

令和2(2020)年度看護学部看護学科卒業時アンケート集計結果

I R 推進室

I. 調査概要

1. 看護学部看護学科卒業時アンケート目的

- 1) 学生自身が4年間の看護学部看護学科における学びを振り返り、自己の成長を評価し、今後のキャリア・デザインの構築に役立てる。
- 2) 1)の結果に基づき、看護学部看護学科の継続的な教育改善に役立てる。

2. 実施

- 1) 対象：東京純心大学看護学部 令和2(2020)年度卒業生 47名
- 2) 時期：令和3(2021)年2月16日
- 3) 配付・回収方法：令和3(2021)年2月16日のクラスアワーにて配付・回答後即回収
- 4) 回収状況：46名（回収率97.9%）

3. 質問項目

- 1) DP（「ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針」）の自己評価
- 2) 看護学部の教育（講義・演習・実習・図書館）改善の必要性
- 3) キャリアアップ、進路・就職サポート、インターシップ支援
- 4) 看護師国家試験支援体制
- 5) 看護教育に対する満足の種類

II 調査結果

1. DP（ディプロマ・ポリシー：卒業認定・学位授与に関する方針）の自己評価について

		修 得 の 割 合				
		5	4	3	2	1
		90% 以上	80～ 90% 未満	70～ 80% 未満	60～ 70% 未満	60% 未満
1)	豊かな人間性と倫理観のもとに、人間の尊厳と権利を擁護する態度を身につけている。	16 (36%)	18 (40%)	7 (16%)	4 (9%)	0 (0%)
2)	自己理解・自己受容のもとに、自己を活用した対人支援力を身につけている。	12 (26%)	23 (50%)	8 (17%)	2 (4%)	1 (2%)
3)	看護を必要としている人々に、的確な看護判断のもとで確実に実践できる基礎的能力を身につけている。	13 (28%)	18 (39%)	13 (28%)	2 (4%)	0 (0%)
4)	地域社会の包括的ヘルスケアシステムの一員として、人々の健康生活に貢献する基礎的能力を身につけている。	11 (24%)	23 (50%)	9 (20%)	3 (7%)	0 (0%)
5)	看護専門職として自らの価値観を形成し、成長し続けられるための基礎を身につけている。	13 (28%)	21 (46%)	10 (22%)	2 (4%)	0 (0%)

2. 看護学部教育（講義・演習・実習・図書館）改善について

		①改善の必要がある	②改善の必要はない	未記入
1)	看護学部の4年間の講義について	20 (43%)	26 (57%)	0 (0%)
2)	看護学部の4年間の演習について	11 (24%)	35 (76%)	0 (0%)
3)	看護学部の4年間の実習について	12 (26%)	34 (74%)	0 (0%)
4)	実習中の指導体制について	14 (30%)	32 (70%)	0 (0%)
5)	図書館の充実について	5 (11%)	41 (89%)	0 (0%)

3. 今後のキャリアアップについて（複数回答可）

	(人)	
①保健師課程進学	6	
②助産師課程進学	5	
③大学院博士前期課程進学	0	
④大学院博士後期課程進学	0	
⑤認定看護師取得	14	
⑥専門看護師取得	12	
⑦看護教育・研究者	3	
⑧未定	1	養護教諭

4. 進路・就職サポート

1) 進路・就職サポートを受けた人（複数回答可）

	(人)	
キャリアサポートセンター（カウンセリング・キャリアサポート）	18	
アドバイザー	25	
卒業研究の担当教員	5	
その他の教員	5	
その他	7	卒業生、先輩、事務職員 2、無記入 3

2)～5) 進路・就職サポートについて

		①そう思う	②ややそう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	無回答
2)	進路・就職サポートの相談体制は整っていたか	19 (41%)	11 (24%)	6 (13%)	6 (13%)	4 (9%)
3)	進学・就職の資料や情報は充実していたか	9 (20%)	19 (41%)	7 (15%)	7 (15%)	4 (9%)
4)	学外での職場体験制度の案内が充実していたか	6 (13%)	22 (48%)	8 (17%)	7 (15%)	3 (7%)
5)	国家試験対策に関する支援は役に立ったか	20 (43%)	23 (50%)	1 (2%)	1 (2%)	1 (2%)

5. 看護教育に対する満足の種類

	①そう思う	②ややそう思う	③あまりそう思わない	④そう思わない	無回答
4年間の看護教育について満足しているか	8 (17%)	34 (74%)	2 (4%)	0 (0%)	2 (4%)